５－５　東海地方の微小地震の分布（1996 年 11 月１日～1997 年４月 30 日）

Distribution of Microearthquakes in Tokai District
(November 1, 1996-April 30, 1997)

名古屋大学理学部
School of Science, Nagoya University

1996 年 11 月１日より 1997 年４月 30 日までの６カ月間における東海地方の微小地震活動について報告する。

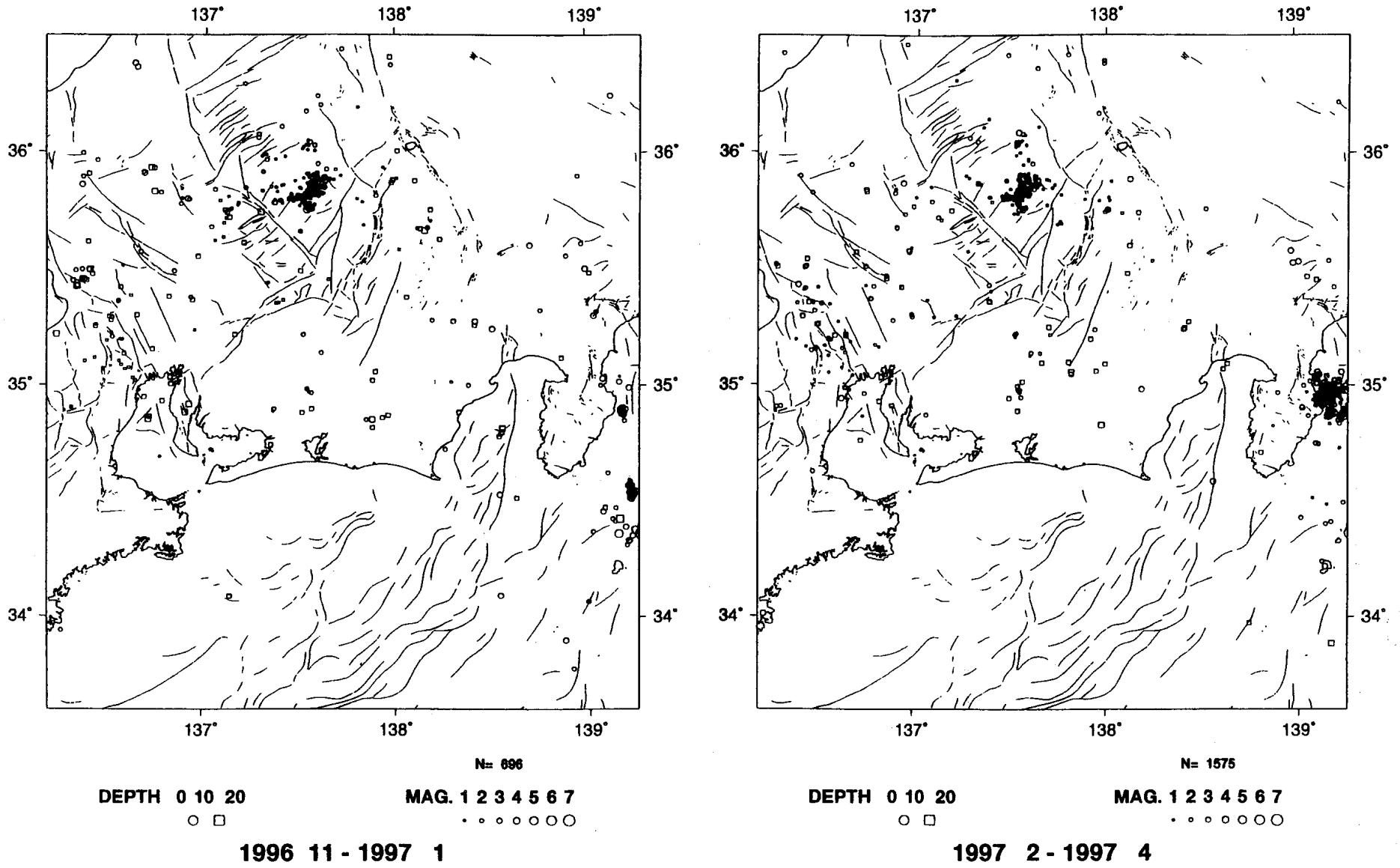
第１図は 1996 年 11 月１日より 1997 年４月 30 日までの６カ月間に名古屋大学理学部の地震テレメータ観測網によって観測された 20km未満の深さで発生している地震の震央を３カ月づつの期間に分けて示したものである。第２図は同じ期間に 20km以深から 80km未満の深さで発生した地震の震央を示したものである。

以下にその特徴について述べる。

（１）　上部地殻内に発生する地震については，東海地域では愛知県西部および静岡県東部ではやゝ活動的であった。

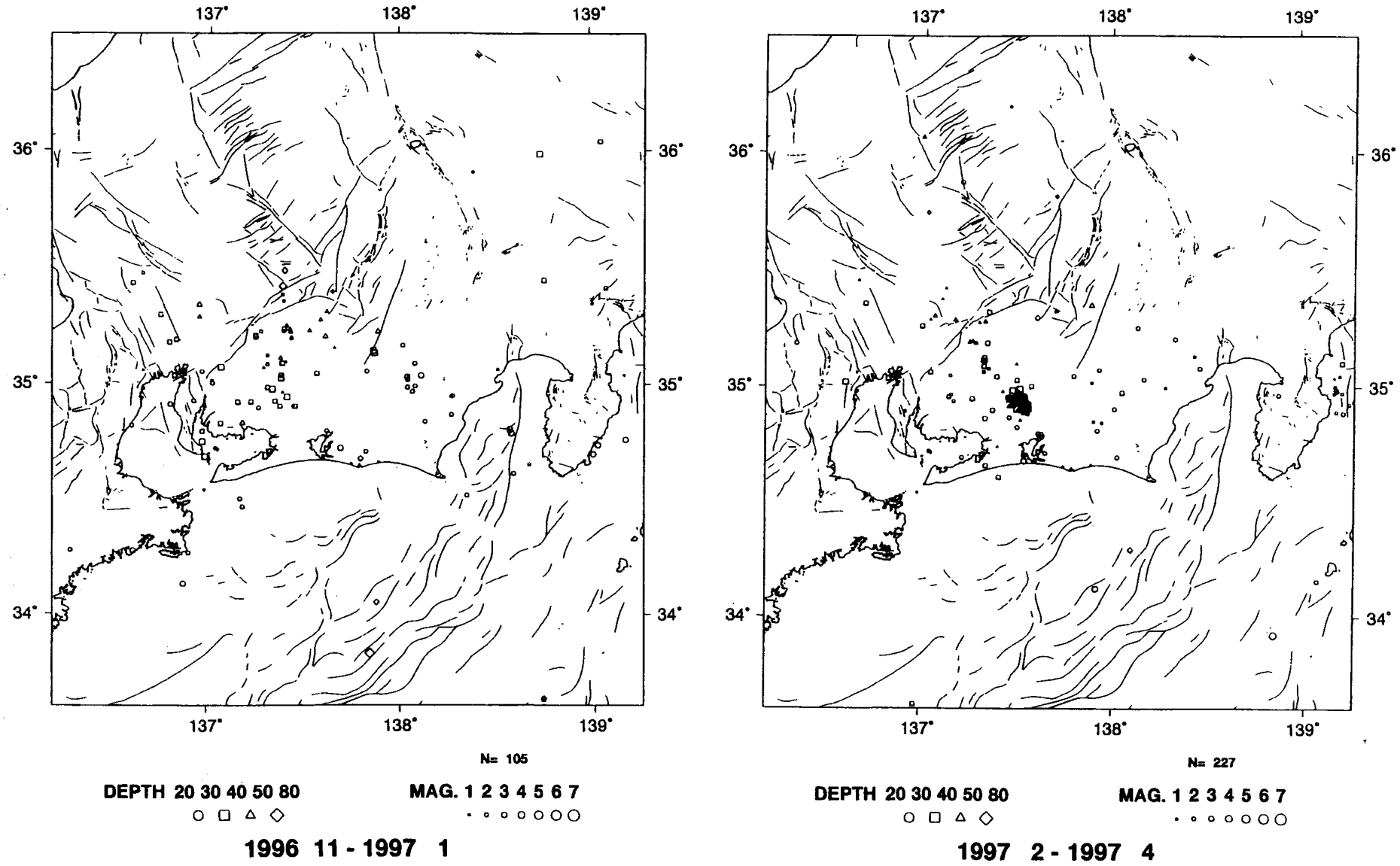
（２）　長野県西部地域ではほゞ定常的でな活動であった。が群発地震の活動域が東北部に拡大した。

（３）　フィリピン海プレート内の地震活動は活動的であった。1997 年 3 月 16 日に愛知県東部で M5.8 の地震があり，以後およそ 300 個の微小余震活動が見られた。この地震は震源の深さ 36km でプレート内の浜名湖から北西に線状に分布する微小地震活動域から北東にはずれているが余震域はこの分布に平行している。本震は正断層型であった。



第１図　微小地震の分布（1996 年 11 月 1 日～1997 年 4 月 30 日）震源の深さが 20km 未満のもの

Fig. 1　Epicenter distribution of earthquakes (Nov.1, 1996-Apr.30, 1997) shallower than 20km.



第２図　微小地震の分布（1996 年 11 月 1 日～1997 年 4 月 30 日）震源の深さが 20km 以深から 80km 未満のもの

Fig. 2　Epicenter distributionof earthquakes (Nov.1, 1996 - Apr.30, 1997) deeper than and equal to 20km.